令和7年度自己点検・評価報告書に関する上田市公立大学法人評価委員からの質問事項（回答）

資料4-5

中期計画項目番号	掲載ページ	担当部局	上田市公立大学法人評価委員からの質問	回答	備考
2	15	社会福祉学部	将来構想の可視化（イメージ図）を拝見したい 3つのポリシーは、旧版、改訂版を知りたい	１．将来構想の可視化（イメージ図）は別添資料の通り。 ２．３つのポリシー「旧版」（現行）は長野大学ホームページ（下記URL）にて公表している。別添資料参照。 https://www.nagano.ac.jp/faculty/social_welfare/policy/ ３．３つのポリシー「改訂版」については、令和９年度適用予定で、長野大学ホームページ（下記URL）にて公表している。2026年5月27日長野大学理事会で承認済。別添資料参照。 https://www.nagano.ac.jp/faculty/social_welfare/policy/files/policy.pdf	参考資料3点
4	16	企業情報学部	「課題発見ゼミナール」及び「プロジェクト研究」において開発・制作したものは、実用化につなげる支援をしているのか？ 商品とあるが、販売しているのか？	まず、1年生の「課題発見ゼミナール」では、地域社会や企業の状況、今後の可能性を検討しながら、課題発見・問題解決に取り組んでいる。この段階では、商品・ソフトウェア・アプリなどを考案するところまでであり、現時点では商品化、すなわち市場での販売には至っていない。一方、2年生以上の「プロジェクト研究」では、地域企業との協働を通じて、実用化・商品化を視野に入れた活動を行っている。例えば、地域の食品加工メーカーとの協働から「赤い山賊焼き」「黒い山賊焼き」という商品が令和7年度に生まれ、令和8年3月に試作品の販売にもつながった。その際には、ゼミナール内での研究・考察だけではなく、学部のゼミナールと地域づくり総合センターが協力し、「地域企業とのキックオフ会議」「地域企業への中間発表会」「地域企業とのミーティング」「地域企業での試作づくり」「地域企業への最終発表会」などを実施した。したがって、学生がアイデアを考えて終わるのではなく、地域企業との継続的な協働を通じて、顧客や地域社会にとってどのような価値を持つものにするのかを検討し、その結果として実用化・商品化につなげていくことを目指している。 なお、令和6年度には同様の取り組みの成果として企業と共同開発した「炊き込みご飯の素」をインターネット販売した実績もある。同商品は「米飯用炊き込み材料セット」（実登3246297）として実用新案としても登録されている。	
6	17	大学教育センター	地域課題に対して実践的かつ協働的に取り組む地域協働型教育を１７５件実施したとあるが、何年生がかかわるのか？ １件当たり、何名がかかわるのか？ もしかして、全員がかかわり、課題が175件あったということか？	・地域協働型教育については、1年次の課題探求ゼミナールⅠ・Ⅱをはじめ、2年次、3年次、4年次の専門ゼミナールやプロジェクト研究等において実施している。 ・ゼミ等の受講学生数については、取組内容や実施形態によって異なるが、おおむね5名から30名程度の学生が各種活動に取り組んでいる。 ・また、ゼミやクラスによって課題への取り組み方は異なり、ゼミ・クラス全体で一つの課題に取り組む場合のほか、ゼミ内で複数のグループに分かれて、それぞれが異なる課題に取り組む場合もある。 ・なお、「175件」という件数は、それぞれのゼミ・クラス等が地域課題に取り組んだ件数を示している。詳細については、別添資料参照。	参考資料
9	19	大学教育センター	退学・除籍される主な原因は？	・令和7年度における退学・除籍者数は、総数25件であった。その内訳は、退学22件、除籍3件である。 ・退学・除籍に至った主な事由については、「進路変更（就職等）」及び「就学意欲の低下」が各6件であり、最も多い結果となった。次いで、「学生個人の心身に関する事情」が3件であった。 ・その他の事由としては、「家庭の事情」、「経済的理由」及び「病気療養」等が挙げられる。	
10	19	図書館	地域資料室プロジェクトチームを編成とあるが、構成メンバーは？ 地域の人も入るのか？ 地域の人が入るとしたら、どうやって募集するのか？	①プロジェクトチームは、地域資料・史料に関わりのある領域を専門とする地域経営学部の2名の教員、久保木匡介（地方自治論）、相川陽一（歴史社会学・地域社会学）を中心に構成している。 ②地域の方は、上田小県近現代研究会より桂木惠会長、上田市公文書館運営協議会委員の小平千文様をお招きして助言をいただいている。 ③地域の方への募集は行わず、図書館側から、この事業に関連する分野おける有識者にお声がけして協力いただいている。	
14	21	法人運営改革室	新研究科とは、大学院設置のことですか？	「新研究科」とは、共創情報科学分野の大学院（修士課程）の設置を指すものである。	
16	22	アドミッションセンター	『入試結果は入試区分ごと、学部ごとに学力層、地域、男女比等の分析を行い、本学の強みや弱みを明確にし、関係者で共有するとともに学生募集活動に活かした』とあるが具体的にどう活かしたのか？	学生募集のための広報活動においては、進学業者主催の進学相談会の参加地域の選定や高校訪問先の選定に分析結果を活用した。また、一般選抜の志願者獲得に向けた今後の広報活動においては、ネット広告やDMなどのツールを活用するが、こうしたツールを活用するにあたり、重点地域の策定に分析結果を活用している。	
22	27	地域づくり総合センター	科学研究費補助金等競争的外部資金の新規申請率の母数は何ですか？	母数は、専任教員数（66名）となる。 科学研究費等新規申請率　40件/66名＝60.6%	
24	28	地域共生福祉研究所	コミュニティソーシャルワーカーの養成とは、社協の職員向けですか？ それとも、学んだ学生を募集したくて、学業で養成してほしいということですか？	社協の職員向けや学生向けの講座ではなく、「地域づくり支援員」向けの講座である。コミュニティソーシャルワーカーの養成は、東御市社会福祉協議会から本学に依頼があったもので「地域づくり支援員」に対し、コミュニティソーシャルワーク制度の理解と福祉的な視点を持って地域づくりに取り組む必要性を理解してもらえるような教育的講座の開催が求められている。	

27	30	地域づくり総合センター	地域のシンクタンクの大学内の窓口や体制がありますか？	大学内の窓口は地域づくり総合センターとなる。	
32	32	大学教育センター	全学部での英語必修化の目的は？	①実践的な英語力の向上 「グローカル人材の育成」を教育上の重要な目標の一つとして位置付け、学生が多様な文化的背景を持つ人々と意思疎通を図り、国内外のさまざまな場面で主体的に活動できる実践的な英語運用能力の向上を図るため。 ②国際交流・国際教育の基盤整備 英語による授業の実施や、海外大学との学術交流・教育交流を促進するための基盤を整備。さらに、英語圏をはじめとする海外大学との交流・協定締結等を視野に入れ、学生の学修機会の国際化と本学の教育・研究活動の国際的な展開を推進する。 ③英語の体系化・質保証 学部・学科の再編や新たなカリキュラムの導入を踏まえ、全学的な英語教育の到達目標、教育内容および評価方法の体系化・標準化を図る。特に、ルーブリック等を活用した評価基準を整備することにより、学部・学科を問わず一定の教育水準を確保し、英語教育の質保証につなげる。	
33	33	国際交流センター	学生の海外留学は、費用的な支援もあるのでしょうか？	長野大学では、学生の海外留学の促進および奨励を目的として、海外の大学等に留学する学生に奨励金を給付する「長野大学海外留学奨励金」制度を設けている。対象となる学生は、長野大学と交流協定等の関係がある海外の大学等への派遣留学である。長期留学と短期留学の2つのコースがあり、長期留学の場合は留学先に応じて20万円または30万円、短期留学の場合は一律5万円が支給される。支援を受けるにあたっては、学業成績・人物面の条件に加え、学年に応じた修得単位数と、コースに応じた語学力の基準を満たす必要があり、申込書、成績、面接結果などを総合的に判断して選考している。 実績 令和7年度　2名　（各20万円）　留学先：台湾　長榮大学 令和8年度　2名　（各20万円）　留学先：台湾　長榮大学 参考 費用面での支援はないものの令和7年度には「海外研修」の講義の一環として上記学生の他に14名が中国・黄山学院に行き中国語力や異文化理解力を高めた。また、本学を会場として、ワールドキャンパスインターナショナル（WCI）との国際交流イベントを行い、様々な国の若者と本学学生との交流の機会を設けている。	
36	35	総務・人事担当	事務職員等の勤務評定に関する制度を構築し、評価結果を具体的にどのように賞与等に反映させるのですか？	評価結果の給与への反映方法については、職員給与規程において、勤勉手当を勤務成績に応じて支給し、その算定に「成績率」を用いることとしていることから、勤務評定の結果を勤勉手当の成績率に反映し、賞与額に差を設ける方法が考えられる。 現状では、欠勤や著しい勤務不良等がない場合には、基本的に同一の成績率を適用しているため、勤務評定制度を活用して評価区分に応じた成績率を設定することにより、評価結果を賞与に反映することが可能となる。 一方、このような制度を導入した場合には、評価結果によっては現在より勤勉手当の支給額が下がる職員が生じる可能性があり、評価基準の客観性・公平性を十分に確保するとともに、制度内容について職員への丁寧な説明を行い、過半数代表者の理解・同意を得られるかどうかも課題であると認識している。	
39	36	経営・企画・財務担当	『会計手続きについては、不正使用防止遵守を踏まえた上で、規程等の見直しを検討するとともに、研究推進の観点から外部の研究資金についても適正で弾力的に運用する。』とありますが、具体的にどのように運用しているのでしょうか？	公立大学法人長野大学における会計手続きおよび外部研究資金の適正・弾力的な運用については、コンプライアンスの徹底と研究推進の両立を図るため、以下のとおり運用を行っている。 1 法令・ガイドラインを踏まえた規程整備と『ハンドブック』に基づく運用 ⑴特に公的研究費の取扱いについては、文部科学省高等教育局大学振興課からの事務連絡「公立大学法人及び公立大学における研究費の管理・使用について」（平成29年5月10日付）を踏まえ、本学における研究費の適切な管理・使用体制を確立している。 ⑵取扱ハンドブックの改訂と運用 前記⑴の通知の趣旨を踏まえ、学内の『公立大学法人長野大学公的研究費取扱ハンドブック』（2025年4月1日改訂）に則り、公的研究費の適正かつ弾力的な運用を教職員へ周知し、実務において徹底している。 ２　会計手続きの適正化とデジタル化による効率化 ⑴整備した関係規則等に基づき会計手続きの改正を行い、適正かつ滞りない会計処理を進めている。 ⑵事務効率化および運用の透明性向上を図るため、財務会計システムの電子化に向けた準備を進め、令和8年4月1日から稼働開始している。	
41	37	施設担当	『受益者負担の観点から施設使用料等の見直しを行った』とありますが、具体的にはどのようにしたのでしょうか？ また、その意図は？	これまで、本学施設を学外者が利用する場合、公共性の高いイベント等については、施設使用料及び光熱費のいずれも免除として取り扱うケースがあった。 令和7年度は、受益者負担の観点から取扱いを見直し、公共性が高く施設使用料を免除する場合であっても、施設の利用に伴って実際に発生する光熱費については、原則として利用者の負担とした。 この見直しは、大学施設の地域開放という公共的な役割を維持しつつ、施設利用に伴う経費については、その受益者に適切な負担を求めることで、利用者間の公平性を確保するとともに、施設の維持管理に係る法人負担の適正化を図ることを目的としたものである。 なお、中期計画においても、教育研究に支障のない範囲で大学施設を一般開放するとともに、受益者負担の観点から学外者の施設利用料金等を適切に設定することとしており、令和7年度の自己点検・評価報告書では、この考え方に基づいて施設使用料等の見直しを行ったことを記載している。	

42	38	経営・企画・財務担当	ＰＤＣＡサイクルは、研究でも行うのでしょうか？	公立大学法人長野大学におけるPDCAサイクルについては、教育分野や業務運営のみならず、研究分野においても同様にPDCAサイクルを回し、研究水準の向上や適正な管理・支援体制の改善を図っている。具体的には、以下の枠組みおよび取り組みを通じて研究に関するPDCAサイクルを実施している。 １　法人全体の評価体系（計画№42）における研究の位置付け 　法人の自己点検・評価および上田市公立大学法人評価委員会による評価結果・付帯意見を起点として、法人業務全般の見直しや改善を進めるPDCAサイクルを定めたものである。研究に関する目標・事業についても本サイクルの評価対象（第3章「研究に関する目標を達成するための措置」）として組み込まれており、毎年点検・評価を行って翌年度の事業計画や予算配分へ反映させている。 ２ 研究活動・成果におけるPDCAサイクルの具体例 ⑴研究実績・目標の定期点検と改善（計画No.22～26）： 著作・論文数、学会発表数、受託・共同研究件数、科研費等の申請率・採択率について毎年実績を把握・評価している。 　例えば、令和7年度の科研費新規採択率（14.3%）の検証から「挑戦的研究への応募割合が高かった」等の要因分析を行い、採択率向上に向けた申請種目の検討や申請書類の添削・様式点検支援の強化など、次年度に向けた改善策（Action）につなげている。 ⑵附属研究所における点検・評価（計画No.23・24）： 淡水生物学研究所や地域共生福祉研究所において、論文公表、学会発表、地域連携活動等の実績を評価し、事業の進捗や研究成果の広報・地域還元の方法について改善を図っている。 3　教員評価および研究管理体制におけるPDCAサイクル ⑴教員年度別業績評価の改善（計画No.35）： 全教員を対象とする「年度別業績評価」の中で研究業績等を客観的に評価・フィードバックするとともに、より実効性・客観性のある評価制度とするため評価項目・基準の見直し（PDCA）を継続的に行なっている。 ⑵コンプライアンスおよび研究費管理のPDCA（計画No.47）： 令和7年度に「内部監査室」を設置し、公的研究費の会計監査を実施するとともに、過去の監査指摘事項に対するフォローアップ監査（改善完了の確認）を行うことで、研究費の管理・運用面においても改善サイクルを機能させている。	
45	39	アドミッションセンター	ホームページのリニューアルとありますが、旧サイトのトップ画面は、どのようだったのでしょうか？	新旧のホームページが比較できる資料を参照。	参考資料
49	41	総務・人事担当	電力のCO_2ゼロプランは、どのようなモノですか？	大学が使用する電力について、発電等に伴うCO_2排出量を実質的にゼロとする電力メニューを利用するものである。通常プランと比較し、電気量は若干割高になるが、本学では、環境負荷の低減や脱炭素化に向けた取組の一環として、令和7年度からこのプランを導入している。これは、大学構内で使用する電力量そのものをゼロにするものではなく、再生可能エネルギー由来の電力や非化石証書等を活用することにより、使用する電力に係るCO_2排出量を実質ゼロとして取り扱う仕組みであり、本学では、この取組に加え、既存施設のLED化、空調設備の運用見直し、節電・節水の啓発などを進め、キャンパス全体で環境負荷の低減に取り組んでいる。令和7年度自己点検・評価報告書でも、CO_2ゼロプランの導入と併せて、これらの取組を実施したことを報告している。 なお、環境配慮の取り組みとして、新棟（10号館）においては、外張り断熱工法による高断熱化や高効率設備の導入に加え、屋上に太陽光発電設備を設置するなど、省エネルギー性能と環境負荷の低減に配慮した施設整備を進めている。	

長野大学社会福祉学部の将来構想（案：変更となる可能性があります。）

【ディプロマポリシー（DP）】

DP1：人間科学を基盤とする幅広い教養、基礎的・汎用的能力

DP2：社会福祉の制度・政策に関する知識・技能、社会資源を調整・開発する能力

DP3：対人援助職としての価値・知識・技術および自己省察能力

DP4：社会福祉の運営、地域づくりに貢献するための能力

DP5：地域の生活課題を把握・分析するとともに、課題解決や社会開発に向けて実践し、行動する能力

人材育成と地域連携により、

全ての人々の幸福(well-being)
を実現する福祉コミュニティをつくる

企業・法人　まちづくり協議会　社会福祉協議会等　地域包括支援センター　NPO ボランティア　福祉施設　医療・保健機関　学校

多様な生活課題への対応

地域生活課題　多文化共生　障害　少子高齢化　子ども　就労　災害　貧困　家庭　非行・犯罪

コミュニティマネジメント

市町村

政策

対人援助

国・県

社会福祉政策に関する専門科目

地域福祉／運営管理に関する専門科目

援助技術に関する専門科目

・教員
・社会福祉士
・精神保健福祉士
・認定心理士
・公認心理師

人材育成

地域連携

共通科目：社会福祉の視点と方法、人間と社会の理解

資格取得

他大学

連携開設科目

地域活性化人材育成事業 SPARC

教育学　社会福祉学　心理学

社会学　**社会福祉学部**　特別支援教育学

法学　医学・保健学　福祉工学

進学

大学院（総合福祉学研究科）
・社会福祉学専攻
・発達支援学専攻

地域共生福祉研究所

研究連携・単位互換

共創情報科学部（環境・AI・デザイン）

地域経営学部（地域の持続的発展）

長野大学

社会福祉学部３つのポリシー
（令和８年度まで）

ディプロマ・ポリシー

ディプロマ・ポリシーとは、学位授与の判断のための基本的な考え方として、修了要件や、育成する人材に修得を期待する能力などを示したものです。長野大学では、各学部、研究科のディプロマ・ポリシーを以下の通り定めています。

- 現代社会におけるさまざまな生活問題に関心を抱き、人びとの支援に必要な技術を学ぶ意欲と姿勢をもっている。（関心・意欲・態度）
- 人間と社会について幅広い視野をもち、人びとの福祉を向上させるための知識を有している。（知識・理解）
- 複雑化する福祉課題を身近なものとしてとらえ、専門的な観点から多角的に分析し、解明することができる。
  （思考・判断）
- さまざまな立場の人の思いや考えを受けとめるとともに、自ら考えたことを言葉や行動で示すことができる。
  （技能・表現）

カリキュラム・ポリシー

カリキュラム・ポリシーとは、教育目標やディプロマ・ポリシー等を達成するために必要な教育課程の編成や授業科目の内容および教育方法について基本的な考え方を示したものです。長野大学では、各学部、研究科のカリキュラム・ポリシーを以下の通り定めています。

- **人と福祉について基礎的な知識を身につける**

人間と社会について幅広い視野が形成されるよう、バイオ（身体）・サイコ（心理）・ソーシャル（社会）の視点から分析・解明する能力を育成する。

- **福祉の担い手に必要な専門的な知識技術を身につける**

人びとの地域生活を支えるために、ミクロ（個人、家族）・メゾ（組織、施設）・マクロ（制度・政策）レベルの専門的な知識や技術、価値を学び、専門的な知識及び技術力を育成する。

- **福祉の担い手に必要な実践力を身につける**

福祉課題を身近なものとしてとらえることができるよう、演習・実習、インターンシップなどのより実践的な学びを保障することによって、実践力を育成する。

- **地域の実情や課題を把握し地域福祉に貢献できる力を身につける**

地域の実情に応じた地域包括ケアシステムづくりをめざし、長野県の特性を生かした独自性のある科目を配置し、地域福祉に貢献できる力を育成する。

アドミッション・ポリシー

アドミッション・ポリシーとは、各学部が受験生に求める能力・意欲・適性・経験と、どのような学生を社会に送り出そうとしているのかといった考え方をまとめた基本的な方針のことです。学部選びのための基本的なポイントです。

福祉に対する熱い想いを持ち、地域社会における生活や福祉に貢献したいと考えている人。

世の中には、暮らす上で何らかの困りごとをもつ人たちがいます。だれもが暮らしやすい社会をつくるためには、「いのち」や「こころ」「くらし」などに関する知識を学び、ひとと社会に関する多様な課題に対して自ら調べ、考え、ひとの意見を理解し、発言する能力を経験的に身につけていく必要があります。

「人が好き」「コミュニケーション力をみがきたい」「困っている人やその家族、地域のために役立ちたい」「誰もが安心して暮らせる地域社会をつくる手伝いがしたい」という考えのある皆さんに、福祉に関する幅広い知識と技術を学修してもらい、さまざまな領域で経験を積みながら活躍してほしいと考えています。

そのため、社会福祉学部での学修には、文章読解力や作文能力、多文化の理解など高等学校等での基礎的な学びが必要となってきます。また、少人数グループでの討議や福祉施設での実習を通じて、協調性や積極性などのヒューマンスキルを高め、地域社会で主体的に活動できる人を期待しています。オープンキャンパスや高大連携を通して、社会福祉学部の学びに関心をもった皆さんの出願もお待ちしております。

長野大学社会福祉学部の養成する人材像と
ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー
【令和９年度より適用】

【長野大学社会福祉学部の養成する人材像】

全ての人々の幸福（well-being）を実現する福祉コミュニティの形成に向けて、文理横断・文理融合の幅広い教養と社会福祉学の価値・知識・スキルをもとに、多様化した福祉的課題の発見と解決に主体的に取り組む、「福祉マインド」をもった人材を育成する。

【長野大学社会福祉学部のディプロマ・ポリシー】

「福祉マインド」をもった人材を育成するために、本学部では、卒業要件の124単位以上を修得し、以下に定める能力を有すると認めた者に、学士（社会福祉）の学位を授与する。

ＤＰ１：人間科学を基盤とする幅広い教養、基礎的・汎用的能力

学生は、グローバルな視点を持ち、文理横断・文理融合の幅広い教養を修め、社会福祉学、教育学（発達支援）、心理学などの人間科学を基盤とする学際的な視野から物事を見つめるための、基礎的・汎用的能力を身につけている。

ＤＰ２：社会福祉の制度・政策に関する知識・技能、社会資源を調整・開発する能力

学生は、社会福祉にかかる制度・政策の現状・課題を分析するとともに、生活問題に直面している人々の権利を擁護し、個人がもつ力を高めると同時に新しい社会資源を調整・開発する能力を身につけている。

ＤＰ３：対人援助職としての価値・知識・技術および自己省察能力

学生は、人と環境の接点に働きかけるための知識とスキルを統合し、対人援助職としての価値と倫理に基づく支援を行うための実践能力を身につけている。さらに、自己理解を深め、長期的・俯瞰的な視点から自らの働きかけを省察的にとらえる能力を身につけている。

ＤＰ４：社会福祉の運営、地域づくりに貢献するための能力

学生は、社会福祉の運営組織における権限、情報、人員、財源などについての知識を踏まえ、社会福祉・保健医療・教育関連施設・機関、団体等の運営、多職種・多機関による連携・協働、地域づくり（生活課題の解決に向けて地域に働きかけること）に貢献するための能力を身につけている。

ＤＰ５：地域の生活課題を把握・分析するとともに、課題解決や社会開発に向けて実践し、行動する能力

学生は地域住民および地域社会の実態やニーズを体験的に学び、全ての人々の幸福（well-being）の追求に必要な政策や実践のあり方を追究するための実践力・行動力を身につけている。さらに、人と社会を構成する多様な要素やそれらの相互作用関係を把握・分析し、生活課題が生成されるメカニズムを明らかにするとともに、他者に説明するための論理構成能力を身につけている。

【長野大学社会福祉学部のカリキュラム・ポリシー】

ディプロマ・ポリシーに示す能力を身に付けるために、カリキュラム・ポリシーを次のように定める。

ＣＰⅠ： 教養科目と共通科目

本学部では、社会福祉を学ぶ共通基盤として、人間科学を基盤とする学際的な視野と文理横断・文理融合の幅広い教養、基礎的・汎用的能力を身につけるための教養科目、社会福祉および関連領域に関する基本的な価値・知識・技能を身につけるための専門基礎科目および専門科目を配置する。科目区分毎に選択・必修単位数を定めるとともに、専門基礎科目「人間と社会の理解」「社会福祉の視点と方法」「福祉の仕事」は必修とする。

ＣＰ２：社会福祉の制度・政策に関する専門基礎科目、専門科目

本学部では、社会福祉の制度・政策に関する知識・技能、社会資源を調整・開発する能力を修得するため、社会福祉制度・政策に関する専門基礎科目および専門科目を配置する。科目区分毎に選択・必修単位数を定めるとともに、専門基礎科目「社会保障Ⅰ」、専門科目「社会保障Ⅱ」は必修とする。

ＣＰ３：対人援助に関する専門基礎科目、専門科目

本学部では、人と環境の接点に働きかけるための知識とスキル、価値と倫理に基づく支援を行うための実践能力、自己省察能力を養うため、対人援助に関する専門基礎科目および専門科目を配置する。科目区分毎に選択・必修単位数を定めるとともに、専門基礎科目「障害入門（発達支援学入門）」は必修とする。

ＣＰ４：地域福祉、コミュニティマネジメントに関する専門基礎科目、専門科目

本学部では、社会福祉および医療・教育関連施設・機関、団体等の運営、多職種・多機関による連携・協働、地域づくりにかかる知識・スキルを修得するため、地域福祉および運営管理に関する専門基礎科目および専門科目を配置する。科目区分毎に選択・必修単位数を定めるとともに、専門科目「社会福祉学研究入門Ⅰ」「社会福祉学研究入門Ⅱ」は必修とする。

ＣＰ５：演習・実習等科目、総合研究科目
　本学部では、地域の生活課題を把握・分析するとともに、課題解決や社会開発に向けて実践し、行動する能力を身につけるため、演習・実習等の科目を配置する。また、人と社会を構成する多様な要素やそれらの相互作用関係を把握・分析し、生活課題が生成されるメカニズムを明らかにするとともに、他者に説明するための論理構成能力を身につけるため、総合研究科目を配置する。ＣＰＩからＣＰ４までの積み上げの成果を確実にするために、専門科目「専門ゼミナールⅠ」「専門ゼミナールⅡ」「卒業研究と論文」は必修とする。

　学修成果の評価については、妥当性および信頼性を確保するために、シラバスに記載した各授業科目の到達目標の達成度に応じて、多様な成績評価の方法を用いて多面的・総合的に評価する。

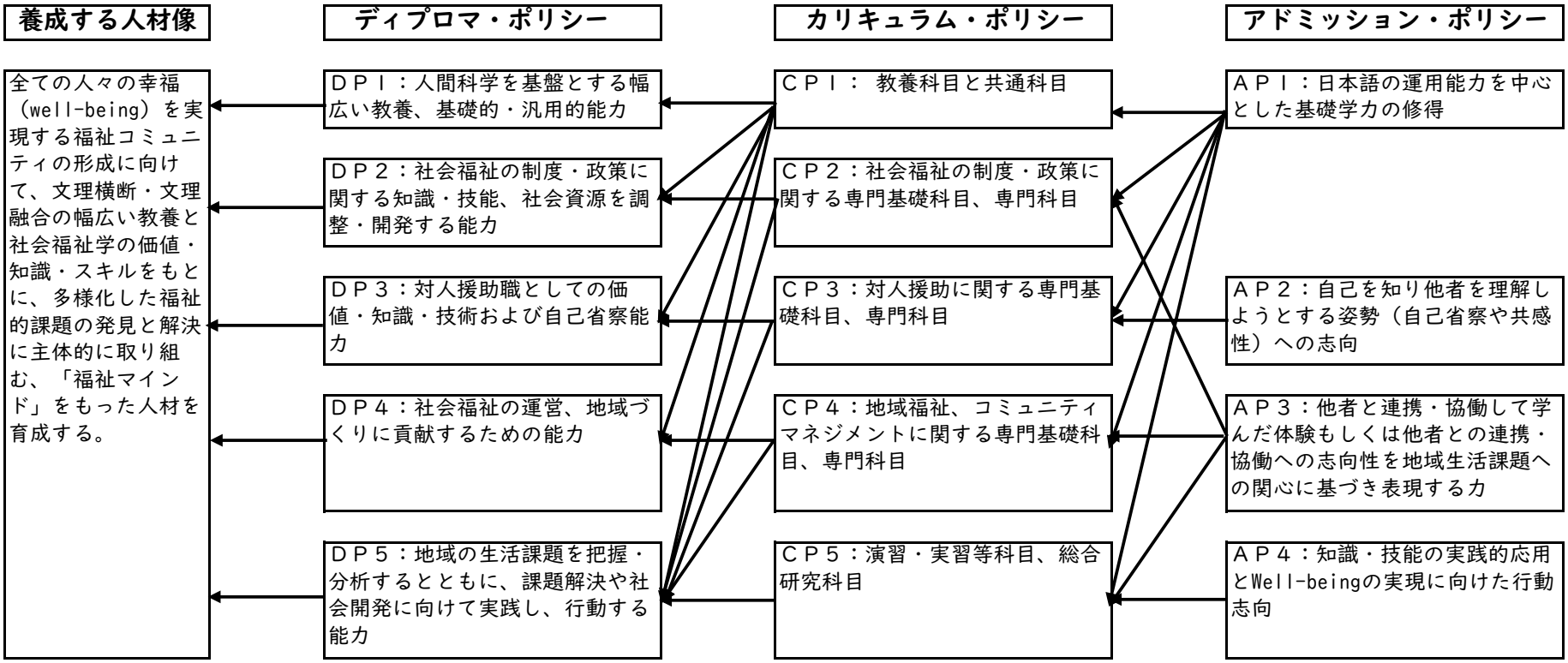
【長野大学社会福祉学部のアドミッション・ポリシー】
ＡＰＩ：日本語の運用能力を中心とした基礎学力の修得
　大学での複合的な学びの土台となる、文章読解・作成を中心とした日本語の運用能力に加え、外国語の運用能力もしくはデータの取得・分析に関する基礎的なリテラシーを含む幅広い基礎学力を修得している。

ＡＰ２：自己を知り他者を理解しようとする姿勢（自己省察や共感性）への志向
　自己を知り、それを踏まえて他者を理解しようとする姿勢を有し、対人援助に求められる価値・態度（自己省察や共感性）を育もうとする姿勢を有する。

ＡＰ３：他者と連携・協働して学んだ体験もしくは他者との連携・協働への志向性を地域生活課題への関心に基づき表現する力
　価値観の異なる多様な他者と連携・協働して、対話・傾聴・合意形成を図って学びを進めた体験もしくは連携・協働への志向性を、地域生活課題への関心に紐づけて表現する力を有する。

ＡＰ４：知識・技能の実践的応用とWell-beingの実現に向けた行動志向
　学んだ知識・技能を地域コミュニティにおける協働活動や実習等の実践の場面で活かし、個人と社会がそれぞれにおいてちょうど良い状態（Well-being）の実現に挑戦する姿勢を有する。

社会福祉学部の養成する人材像と３つのポリシーとの関係



【2512末現在】正課（ゼミナール等）集約一覧

No.	教員名	所属学部	対象活動	活動テーマ	実施概要（活動詳細等）	対象地域	連携して活動する主な団体等	備考
1	阿部　夏希	社会福祉学	その他一般	将来公認心理師として働くために必	不登校支援や発達障害の生徒を対象と	小諸市	長野県教育委員会（東信教育事務	心理実習
2	阿部　夏希	社会福祉学	その他一般	将来公認心理師として働くために必	不登校生徒を対象とした特色あるサ	上田市	さくら国際高等学校	心理実習
3	井上景	社会福祉学	専門ゼミ・	子ども虐待の予防と支援	上田市で起きた乳児遺棄事件を端緒	長野市	長野県中央児童相談所	
4	井上景	社会福祉学	専門ゼミ・	子ども虐待の予防と支援	上田市児童虐待防止講演会の企画に専	上田市	上田市こども未来部	
5	遠藤　忠	社会福祉学	専門ゼミ・	老性自覚に関する検討等の研究		下高井郡	ゆうあいの家　桜（介護保険事務	専門ゼミナール
6	塩津　博康	社会福祉学	専門ゼミ・	みんなねっと北信越ブロック家族会	精神障害者家族会の北信越ブロック大	長野県、新	ＮＰＯ法人長野県精神保健福祉会	専門ゼミナール
7	岡村　亮佑	社会福祉学	専門ゼミ・	戦後の日本における教育方法学の理	学校参観、および授業観察と検討会	愛知県知多	愛知県知多郡東浦町立緒川小学校	専門ゼミナール・教
8	岡村　亮佑	社会福祉学	専門ゼミ・	戦後の日本における教育方法学の理		軽井沢町	軽井沢風越学園	専門ゼミナール
9	岡村　亮佑	社会福祉学	専門ゼミ・	戦後の日本における教育方法学の理		上田市	上田市立塩田中学校	専門ゼミナール
10	岡村　亮佑	社会福祉学	専門ゼミ・	戦後の日本における教育方法学の理	学校参観、および授業観察と検討会	木島平村	木島平村立木島平小学校	専門ゼミナール・教
11	岡村　亮佑	社会福祉学	初年次ゼミ	地域におけるフィールドワークの実	施設見学とインタビュー	松本市	松本少年刑務所	
12	岡村　亮佑	社会福祉学	初年次ゼミ	地域におけるフィールドワークの実	施設見学とインタビュー	飯山市	児童養護施設いいやま	
13	岡村　亮佑	社会福祉学	初年次ゼミ	地域におけるフィールドワークの実	学校参観、および授業観察と検討会	上田市	上田市立中塩田小学校	
14	士屋　順子	社会福祉学	初年次ゼミ	社会福祉学部に入学した学生たち	フィールドワークを行う。職員の方へ	上田市	上田市発達相談センター	人間と社会の理解b
15	緒方　慶三郎	社会福祉学	その他一般	将来公認心理師として働くために必	病院における心理師の実践を見学。公	佐久市	佐久総合病院	心理実習
16	緒方　慶三郎	社会福祉学	その他一般	将来公認心理師として働くために必	病院における心理師の実践を見学。公	小諸市	小諸高原病院	心理実習
17	緒方　慶三郎	社会福祉学	その他一般	将来公認心理師として働くために必	病院における場実習を通した、心理学	松本市	信州大学医学部附属病院	心理実習
18	小林　万洋	社会福祉学	その他一般	将来公認心理師として働くために必	臨床実践に関する事項の基本的な知	長野市	長野少年鑑別所	心理実習
19	小林　万洋	社会福祉学	その他一般	将来公認心理師として働くために必	臨床実践に関する事項の基本的な知	長野市	長野県中央児童相談所	心理実習
20	新田　さやか	社会福祉学	専門ゼミ・	こんにちの社会における社会的バル	専門ゼミナールのグループ研究活動と	上田市	豊殿まちづくり協議会	専門ゼミナール
21	新田　さやか	社会福祉学	初年次ゼミ	社会福祉学部に入学した学生たち	上田市内 3 地域包括支援センター（西	上田市	神川地域包括支援センター	人間と社会の理解e
22	新田　さやか	社会福祉学	初年次ゼミ	社会福祉学部に入学した学生たち	上田市内 3 地域包括支援センター（西	上田市	西部地域包括支援センター	人間と社会の理解e
23	新田　さやか	社会福祉学	初年次ゼミ	社会福祉学部に入学した学生たち	上田市内 3 地域包括支援センター（西	上田市	中央地域包括支援センター	人間と社会の理解e
24	青木　雄一	社会福祉学	その他一般	特別支援学校学校(知的障害)におい	知的障害教育演習の授業の一環で、学	神奈川県横	筑波大学附属久里浜特別支援学校	知的障害教育演習
25	青木　雄一	社会福祉学	その他一般	特別支援学校学校(知的障害)におい		長野市	信州大学教育学部附属特別支援学	知的障害教育演習
26	青木　雄一	社会福祉学	専門ゼミ・	特別支援学校・特別支援学級に在籍	特別支援学校に在籍する自閉スペクト	長野市	信州大学教育学部附属特別支援学	専門ゼミナール
27	青木　雄一	社会福祉学	専門ゼミ・	特別支援学校・特別支援学級に在籍	卒業研究におけるデータ収集のため、	長野市	学校法人いいづな学園　グリーン	専門ゼミナール
28	青木　雄一	社会福祉学	専門ゼミ・	特別支援学校・特別支援学級に在籍	卒業研究におけるデータ収集のため、	長野市	長野市立戸隠小学校	専門ゼミナール
29	青木　雄一	社会福祉学	その他一般	特別支援学校学校(知的障害)におい	知的障害教育演習の授業の一環で、ろ	小諸市	長野県長野ろう学校小諸分教室	知的障害教育演習
30	青木　雄一	社会福祉学	専門ゼミ・	特別支援学校・特別支援学級に在籍	特別支援学級（自閉症･情緒）におい	東御市	東御市立北御牧小学校	専門ゼミナール
31	青木　雄一	社会福祉学	専門ゼミ・	特別支援学校・特別支援学級に在籍		上田市		専門ゼミナール
32	青木　雄一	社会福祉学	専門ゼミ・	特別支援学校・特別支援学級に在籍	知的障害教育演習の授業の一環で、実	山梨県甲府	山梨大学教育学部附属特別支援学	専門ゼミナール
33	青木　雄一	社会福祉学	その他一般	特別支援学校学校(知的障害)におい	知的障害・自閉スペクトラム症のある	長野市	俊英幼稚園、児童発達支援セン	知的障害教育演習
34	早坂　淳	社会福祉学	専門ゼミ・	地域学校協働活動を通した価値観の	長野県教委との共同事業で“あるコミュ	大町市	大町市美麻小中学校	専門ゼミナール
35	早坂　淳	社会福祉学	専門ゼミ・	地域学校協働活動を通した価値観の	子どもの居場所づくり（子ども食堂と	上田市	上田市西部公民館	専門ゼミナール
36	早坂　淳	社会福祉学	専門ゼミ・	地域学校協働活動を通した価値観の	2 年生を対象にした授業「 坂城学」の	坂城町	坂城高等学校	専門ゼミナール
37	相馬　大祐	社会福祉学	専門ゼミ・	障害とは何か、社会モデルとは何	見学および職員と利用者へのインタ	長和町	障害者支援施設　山の子学園　山	専門ゼミナール
38	相馬　大祐	社会福祉学	専門ゼミ・	障害とは何か、社会モデルとは何	見学および職員と利用者へのインタ	東御市	社会福祉法人　みまき福祉会	専門ゼミナール
39	丹野傑史	社会福祉学	専門ゼミ・	教育支援職の専門性の向上	LD等通級指導教室在籍児童を対象とし	上田市	上田市立川辺小学校	長野大学でのGSSTの
40	平久江　薫	社会福祉学	その他一般	将来公認心理師として働くために必	現場の心理職の方から心理学的支援の	千曲市	社会福祉法人八葉会恵愛	心理実習
41	平久江　薫	社会福祉学	その他一般	将来公認心理師として働くために必	心理学的支援の実際についてお話をう	軽井沢町	児童養護施設　軽井沢学園	心理実習
42	平久江　薫	社会福祉学	専門ゼミ・	将来公認心理師として働くために必	心理学的支援の実際についてお話をう	長野市	松代福祉寮・松代児童相談セン	心理実習
43	片山　優美子	社会福祉学	専門ゼミ・	WRAP（元気回復行動プラン）、ス	事業所の見学、 トントゥフェスティ	神奈川県小	株式会社リンクライン	専門ゼミナール
44	片山　優美子	社会福祉学	専門ゼミ・	WRAP（元気回復行動プラン）、ス	トントゥフェスティバルへの参画	埼玉県飯能	特定非営利活動法人ディーセント	専門ゼミナール
45	片山　優美子	社会福祉学	初年次ゼミ	地域課題活動探索	学生たちが共通する課題をもちグルー	上田市	上田市社会福祉協議会	人間と社会の理解

【2512末現在】正課（ゼミナール等）集約一覧

No.	教員名	所属学部	対象活動	活動テーマ	実施概要（活動詳細等）	対象地域	連携して活動する主な団体等	備考
46	片山　優美子	社会福祉学	初年次ゼミ	地域課題活動探索	学生たちが共通する課題をもちグルー	上田市	就労継続支援Ｂ型事業所キミノタ	人間と社会の理解
47	片山　優美子	社会福祉学	初年次ゼミ	地域課題活動探索	学生たちが共通する課題をもちグルー	長野市	翔和学園	人間と社会の理解
48	片山　優美子	社会福祉学	初年次ゼミ	地域課題活動探索	学生たちが共通する課題をもちグルー	上田市	就労準備型放課後等デイサービス	人間と社会の理解
49	片山　優美子	社会福祉学	初年次ゼミ	地域課題活動探索	学生たちが共通する課題をもちグルー	上田市	上田市社会福祉協議会	人間と社会の理解
50	片山　優美子	社会福祉学	初年次ゼミ	地域課題活動探索	学生たちが共通する課題をもちグルー	上田市	森の家　はらとうげ	人間と社会の理解
51	片山　優美子	社会福祉学	初年次ゼミ	地域課題活動探索	学生たちが共通する課題をもちグルー	上田市	おけまる食堂	人間と社会の理解
52	片山　優美子	社会福祉学	初年次ゼミ	地域課題活動探索	学生たちが共通する課題をもちグルー	上田市	ふれあいデイサービスうらら、う	人間と社会の理解
53	片山　優美子	社会福祉学	初年次ゼミ	地域課題活動探索	学生たちが共通する課題をもちグルー	上田市	多文化共生推進協会（AMU）	人間と社会の理解
54	片山　優美子	社会福祉学	初年次ゼミ	地域課題活動	年間を通して「塩田地区高齢者システ	上田市	塩田地域包括支援センター	人間と社会の理解
55	鈴木　由美子	社会福祉学	専門ゼミ・	保健医療福祉に視点をおきつつ、ミ	東日本大震災語り部の方から被災地の	福島県	いわき震災伝承みらい館	専門ゼミナール
56	鈴木　由美子	社会福祉学	専門ゼミ・	保健医療福祉に視点をおきつつ、ミ	高齢者総合施設アザレアンさなだは、	上田市	高齢者総合施設アザレアンさなだ	専門ゼミナール
57	鈴木　由美子	社会福祉学	専門ゼミ・	保健医療福祉に視点をおきつつ、ミ	救護施設共和寮は、生活保護法に規定	長野市	社会福祉法人長野市社会事業協会	専門ゼミナール
58	鈴木　由美子	社会福祉学	専門ゼミ・	保健医療福祉に視点をおきつつ、ミ	わかさぼBase は、長野県社会福祉協	長野市	長野県社会福祉協議会（わかさぼ	専門ゼミナール
59	鈴木　由美子	社会福祉学	専門ゼミ・	保健医療福祉に視点をおきつつ、ミ	医療現場で働くソーシャルワーカーの	上田市	鹿教湯三才山リハビリテーション	専門ゼミナール
60	鈴木　由美子	社会福祉学	専門ゼミ・	農福連携の実施現場から学ぶ	障害者就労支援施設の利用者とともに	長野市	社会福祉法人くりのみ園	専門ゼミナール
61	鈴木　由美子	社会福祉学	専門ゼミ・	障害者入所施設の行事参加を通して	障害者入所施設のクリスマス会実施補	小諸市	社会福祉法人小諸学舎	専門ゼミナール
62	羽田　司	環境ツーリ	初年次ゼミ	「地」域を「理」解する学問である		上田市		課題探求ゼミナール
63	羽田　司	環境ツーリ	専門ゼミ・	「農」村や「農」業（食）といった	伊勢湾に隣接する地域の発展を多面	三重県四日		専門ゼミナール
64	羽田　司	環境ツーリ	専門ゼミ・	「農」村や「農」業（食）といった	山岳観光の実態について体験する	安曇野市		専門ゼミナール
65	羽田　司	環境ツーリ	専門ゼミ・	「農」村や「農」業（食）といった		下高井郡山		専門ゼミナール
66	羽田　司	環境ツーリ	専門ゼミ・	上田地域におけるワイン産業に関す	2024 年度の活動成果報告を行うため	上田市	椀子ワイナリー	専門ゼミナール
67	横関　隆登	環境ツーリ	初年次ゼミ	履修生の一人一人が大学生活を通じ	地域に残る文化財ならびに基盤として	上田市		課題探求ゼミナール
68	久保木　匡介	環境ツーリ	初年次ゼミ	地域づくりを地方自治体の政策から	松代大本営跡の見学と保存活動にかか	長野市	松代大本営跡	課題探求ゼミナール
69	久保木　匡介	環境ツーリ	専門ゼミ・	地域の持続可能性を高める自治体政	観光まちづくり、景観まちづくりのヒ	神奈川県鎌	鎌倉市役所他	専門ゼミナール
70	熊谷　圭介	環境ツーリ	その他一般	観光事業、まちづくり事業、集客都		東御市、小	海野宿保存会、海野宿トラスト、	観光まつちづくり事
71	熊谷　圭介	環境ツーリ	専門ゼミ・	大学周辺の上小地域や東信地域を	長和町和田宿地区を対象に、空き家改	長和町	長和町和田宿、上田西高校	専門ゼミナール、卒
72	熊谷　圭介	環境ツーリ	専門ゼミ・	観光事業、まちづくり事業、集客都	真田地区の砂防施設や、発電所施設の	上田市	上田インフラ研究会	専門ゼミナール、卒
73	熊谷　圭介	環境ツーリ	その他一般	長野県企業局による保健休養地事業	須坂市観光協会長（元峰の原高原観光	上田市	峰の原高原観光協会	観光まちづくり事業
74	熊谷　圭介	環境ツーリ	その他一般	上田城跡公園および城下町エリアの	演習科目において、上田城の保存活用	上田市	上田市	観光まちづくり演習
75	熊谷　圭介	環境ツーリ	専門ゼミ・	旅行会社のＤＭＣ化と教育旅行形態	大手旅行会社や地域観光団体と連携	白馬村	ＪＴＢ長野支店	昨年度からの継続
76	熊谷　圭介	環境ツーリ	専門ゼミ・	妙高市の観光まちづくりのフィール	麗澤大学、筑波大学大学院等と連携	新潟県	麗澤大学	昨年度から継続
77	熊谷　圭介	環境ツーリ	専門ゼミ・	上田市柳町の観光まちづくり事業の	会津若松市七日町通りまちなみ協議会	福島県	会津若松市七日町通りまちなみ協	
78	熊谷　圭介	環境ツーリ	専門ゼミ・	道の駅・あおきを活かした地域振興	道の駅・あおきフィールドワークし、	青木村	道の駅・あおき	タチアカネのそば殻
79	熊谷　圭介	環境ツーリ	その他一般	寄附講座	長野大学の寄附講座・研究として「信	上田市はじ	東急株式会社・東急グループ	
80	古田　睦美	環境ツーリ	専門ゼミ・	地域資源を活用した持続可能な地域	別所温泉駅から、野倉地区へのアクセ	上田市	信州観光バス別所営業所	専門ゼミナール
81	古平　浩	環境ツーリ	初年次ゼミ	地方創生のためにどんな解決策があ	地域公共交通の課題と現状を捉えるた	長野市	長電バス株式会社	課題探求ゼミナール
82	高橋　一秋	環境ツーリ	専門ゼミ・	講義「アサマブドウを食べたのは	NPO 法人 浅間山麓国際自然学校　開校	小諸市	NPO 法人浅間山麓国際自然学校	専門ゼミナール
83	高橋　一秋	環境ツーリ	専門ゼミ・	たねぷろじぇくと（被災地里山救	たねぷろ教室①、たねぷろ教室②を開	宮城県山元	宮城県山元町立坂元小学校、上田	専門ゼミナール
84	高橋　一秋	環境ツーリ	専門ゼミ・	山元町震災遺構 中浜小学校の視察	山元町震災遺構 中浜小学校に赴き、	宮城県山元	山元町震災遺構 中浜小学校、や	専門ゼミナール、
85	高橋　一秋	環境ツーリ	専門ゼミ・	浅間山ツツジ科小低木調査	浅間山高山帯に自生するツツジ科小低	軽井沢町	特定非営利活動法人ピッキオ、国	専門ゼミナール
86	高橋　一秋	環境ツーリ	専門ゼミ・	ツキノワグマの夏季・秋季の果実利	ツキノワグマにGPS首輪（カメラ付	軽井沢町	株式会社ピッキオ	専門ゼミナール
87	高橋　一秋	環境ツーリ	専門ゼミ・	総合的な学習の時間「鳥の観察」	塩田中学校の 3 年生を対象に、総合的	上田市	上田市立塩田中学校	専門ゼミナール
88	高橋　一秋	環境ツーリ	初年次ゼミ	「ＵＥ森2025～上田地域にぎやか	長野県上田地域振興局主催の「ＵＥ森	上田市	上田地域振興局	課題探求ゼミナー
89	高橋　一秋	環境ツーリ	初年次ゼミ	「鯉西つけば」の見学	千曲川の河川敷に店舗を設ける「鯉西	上田市	鯉西つけば	課題探求ゼミナー
90	高橋　一秋	環境ツーリ	専門ゼミ・	ピッキオ「野鳥の森 ネイチャー	ピッキオのガイドツアー「野鳥の森ネ	軽井沢町	株式会社ピッキオ	課題探求ゼミナー

【2512末現在】正課（ゼミナール等）集約一覧

No.	教員名	所属学部	対象活動	活動テーマ	実施概要（活動詳細等）	対象地域	連携して活動する主な団体等	備考
91	高橋　一秋	環境ツーリ	初年次ゼミ	別所温泉の視察	別所温泉のガイドツーに参加し、観光	上田市	別所温泉観光ガイド	課題探求ゼミナール
92	高橋　一秋	環境ツーリ	初年次ゼミ	ネイチャーゲーム体験（長野大学	ネイチャーゲームリーダーを招聘し、	上田市	公益社団法人日本シェアリングネ	課題探求ゼミナール
93	高橋　一秋	環境ツーリ	専門ゼミ・	巣栗渓谷調査	巣栗渓谷に流れる武石川で楽しむこと	上田市	信州たけしのロマンと魅力を掘り	専門ゼミナール
94	高橋　一秋	環境ツーリ	専門ゼミ・	「望月少年自然の家」における自然	野外炊飯、キャンプファイヤー、クラ	佐久市	長野県望月少年自然の家	専門ゼミナール
95	高橋　一秋	環境ツーリ	専門ゼミ・	たねぷろじぇくと（被災地里山救	ワークショップ⑧植栽地の整備、⑨苗	宮城県山元	宮城県水産林政部森林整備課、山	専門ゼミナール
96	高橋　一秋	環境ツーリ	専門ゼミ・	たねぷろじぇくと（被災地里山救	第11回たねぷろじぇくと植樹祭を開催	宮城県山元	宮城県山元町立坂元小学校、上田	専門ゼミナール、
97	高橋　一秋	環境ツーリ	専門ゼミ・	まちなかキャンパスうえだ市民向け	まちなかキャンパスうえだ市民向け講	上田市	まちなかキャンパスうえだ	専門ゼミナール
98	高橋　一秋	環境ツーリ	専門ゼミ・	ひょうたん池復活プロジェクト	丸子北小学校の6年生が計画する「ひょ	上田市	丸子北小学校	専門ゼミナール
99	高橋　一秋	環境ツーリ	専門ゼミ・	越後妻有・冬季エコツーリズム視察	自然学校と博物館を視察し、雪国の自	新潟県十日	あてま高原リゾート・ベルナティ	専門ゼミナール
100	高橋　一秋	環境ツーリ	専門ゼミ・	環境教育プログラム「お魚教室」の	ビオトープと水路を利用する水生生物	上田市	上田市立塩田西小学校	専門ゼミナール
101	高橋　一秋	環境ツーリ	専門ゼミ・	坂城町講座＆長野大学地域公開イベ	坂城町と上田市塩田平の小学校児童・	上田市	上田市立中塩田小学校、上田市立	専門ゼミナール、
102	高橋　一秋	環境ツーリ	専門ゼミ・	環境教育プログラム「畑のお野菜を	上田市民（幼児・児童・保護者）を対	上田市	上田創造館	専門ゼミナール、
103	高橋　一秋	環境ツーリ	専門ゼミ・	川遊び体験プログラムの実施	塩田西小学校の児童・保護者を対象	上田市	上田市立中塩田小学校、信州たけ	専門ゼミナール、
104	松下　重雄	環境ツーリ	専門ゼミ・	主体的に関わるまちづくりの地域の		上田市	上田市武石地域のNPO法人武石子	専門ゼミナール
105	松下　重雄	環境ツーリ	専門ゼミ・	主体的に関わるまちづくりの地域の	上田市武石地域のコミュニティ拠点	上田市	上田市武石地域のNPO法人武石子	専門ゼミナール
106	松下　重雄	環境ツーリ	初年次ゼミ	持続可能な生き方を様々なプログラ	持続可能な生き方をデザインするを	筑北村	NPO 法人わっこ谷の山福農林舎	課題探求ゼミナール
107	松下　重雄	環境ツーリ	専門ゼミ・	主体的に関わるまちづくりの地域の	活動視察体験、卒業研究の一環として	長野市	NPO法人まめってえ鬼無里	専門ゼミナール
108	松下　重雄	環境ツーリ	専門ゼミ・	主体的に関わるまちづくりの地域の	市民･企業・行政のパートナーシップに	静岡県三島	特定非営利法人グラウンドワーク	専門ゼミナール
109	松下　重雄	環境ツーリ	専門ゼミ・	主体的に関わるまちづくりの地域の	住民主体のツーリズムの現地調査およ	茅野市		専門ゼミナール
110	松下　重雄	環境ツーリ	専門ゼミ・	主体的に関わるまちづくりの地域の	上田市武石地域住民組織メンバーと視	小諸市	株式会社タブノキ　みんなの家タ	専門ゼミナール
111	松下　重雄	環境ツーリ	専門ゼミ・	主体的に関わるまちづくりの地域の		上田市	上田市武石地域自治センター	専門ゼミナール
112	松下　重雄	環境ツーリ	専門ゼミ・	地域住民・NPO・企業・行政など、	上田市中心市街地で実施されるイベン	上田市		卒業研究ゼミナール
113	松下　重雄	環境ツーリ	専門ゼミ・	主体的に関わるまちづくりの地域の	地域意見交換会と宿泊体験の実施	上田市	地域コミュニティ施設「チャリン	専門ゼミナール
114	松下　重雄	環境ツーリ	専門ゼミ・	主体的に関わるまちづくりの地域の	巣栗渓谷トレッキングツアー実施	上田市	地域住民組織たけしロマンの会	専門ゼミナール
115	松下　重雄	環境ツーリ	専門ゼミ・	主体的に関わるまちづくりの地域の	稲倉棚田にて田植え体験活動をおこな	上田市		専門ゼミナール
116	松下　重雄	環境ツーリ	専門ゼミ・	主体的に関わるまちづくりの地域の		上田市	株式会社 Kikori	専門ゼミナール
117	相川　陽一	環境ツーリ	専門ゼミ・	20世紀の後半期から現在までの日本	「山形国際ドキュメンタリー映画祭	山形県山形	山形国際ドキュメンタリー映画祭	専門ゼミナール
118	相川　陽一	環境ツーリ	専門ゼミ・	20世紀の後半期から現在までの日本		天龍村		専門ゼミナール、地
119	満尾　世志人	環境ツーリ	専門ゼミ・	佐渡島内における自然環境調査		新潟県佐渡		専門ゼミナール、
120	関　暁之	企業情報学	専門ゼミ・	便利で安心な生活を目指したICTシ	「デジタルアーカイブ化管理を支援す	上田市	藤本蚕業歴史館	プロジェクト研究
121	関　暁之	企業情報学	専門ゼミ・	便利で安心な生活を目指したICTシ	「デジタルアーカイブ化管理を支援す	上田市	市民ICT推進センター	プロジェクト研究
122	関　暁之	企業情報学	専門ゼミ・	便利で安心な生活を目指したICTシ	「長野の祭りと地方創生を繋ぐ『信州	坂城町	坂城町	プロジェクト研究
123	関　暁之	企業情報学	専門ゼミ・	便利で安心な生活を目指したICTシ	「ハイエース車内画像を用いたAIによ	上田市	上田短期大学、上田短期大学附属	プロジェクト研究
124	高橋　雅夫	企業情報学	専門ゼミ・	様々なデータや情報を入手・活用し	共同研究	上田市	鹿教湯温泉つるや旅館	プロジェクト研究
125	高橋　雅夫	企業情報学	専門ゼミ・	様々なデータや情報を入手・活用し	学生に実施したアンケート調査の結果	上田市	手作りのケーキおいしいタルト	プロジェクト研究
126	高橋　雅夫	企業情報学	専門ゼミ・	様々なデータや情報を入手・活用し	お客様満足度に関するアンケート調査	上田市	味楽亭	プロジェクト研究
127	高橋　雅夫	企業情報学	専門ゼミ・	様々なデータや情報を入手・活用し	各県の県民手帳の比較分析に基づく長	長野県他	長野県庁	プロジェクト研究
128	高橋　雅夫	企業情報学	専門ゼミ・	様々なデータや情報を入手・活用し	自治体の人口維持に関する調査研究	坂城町他	坂城町	プロジェクト研究
129	高橋　雅夫	企業情報学	専門ゼミ・	様々なデータや情報を入手・活用し	ローカル鉄道の輸送人員増加策を分析	上田市他	上田電鉄	プロジェクト研究
130	三石　貴志	企業情報学	専門ゼミ・	身近で解決すべき社会・企業・日常	長野県小県郡依田川沿岸土地改良区を	上田市		プロジェクト研究
131	市川　文彦	企業情報学	専門ゼミ・	地域での太陽光・小水力などの再生				専門ゼミナール
132	市川　文彦	企業情報学	専門ゼミ・	地域での太陽光・小水力などの再生	産官学の各領域からの参加者、当ゼミ	上田市	シナノケンシ株式会社	プロジェクト研究
133	市川　文彦	企業情報学	専門ゼミ・	地域での太陽光・小水力などの再生	聴き取り、データ検討、意見交換など	千曲市	千曲市産業支援センター	プロジェクト研究
134	市川　文彦	企業情報学	専門ゼミ・	地域での太陽光・小水力などの再生	市川ゼミが主催、スイス連邦政府（開			プロジェクト研究
135	市川　文彦	企業情報学	初年次ゼミ	千曲川、菅平高原、諏訪湖、塩田平	左記の各地域の実地調査の実施	上田市・上	自然エネルギー上小ネット、うえ	課題発見ゼミⅡ

【2512末現在】正課（ゼミナール等）集約一覧

No.	教員名	所属学部	対象活動	活動テーマ	実施概要（活動詳細等）	対象地域	連携して活動する主な団体等	備考
136	市川　文彦	企業情報学	専門ゼミ・	県環境部・県上田地域振興局主催	10月実施の左記ミーティングの議論、	上田市	長野県環境部、長野県上田地域振	プロジェクト研究
137	市川　文彦	企業情報学	専門ゼミ・	うえだ環境市民会議・＜環境をよく	小家具３種、小学生向け教育用ジオラ	上田市	コムパックシステム株式会社、う	プロジェクト研究
138	市川　文彦	企業情報学	専門ゼミ・	コムパックシステム株式会社への	小家具３種、小学生向け教育用ジオラ	上田市	コムパックシステム株式会社	プロジェクト研究
139	市川　文彦	企業情報学	専門ゼミ・	自然エネ上小ネット・第58回情報交	小家具３種、小学生向け教育用ジオラ	上田市	コムパックシステム株式会社、自	プロジェクト研究
140	市川　文彦	企業情報学	専門ゼミ・	環境国際学生会議@大阪・関西万博	左記の国際学生会議での当ゼミの報告	上田市	上田高校U-EFS、信州大学学生環	プロジェクト研究
141	市川　文彦	企業情報学	専門ゼミ・	ものづくりフェア千曲2025での、	左記のフェアの企業ブースの展示内容	千曲市	千曲市産業支援センター、ものづ	プロジェクト研究
142	市川　文彦	企業情報学	専門ゼミ・	地域貢献／地域活性化学生フォーラ	左記のフォーラムにて、主催者・高等	松本市	高等教育コンソーシアム信州・事	プロジェクト研究
143	松永　伸太朗	企業情報学	専門ゼミ・	現代社会における働き方の成り立ち	インタビュー調査	上田市	かしわや本店	プロジェクト研究
144	松永　伸太朗	企業情報学	専門ゼミ・	現代社会における働き方の成り立ち	インタビュー調査	上田市	間島宣伝事務所	プロジェクト研究
145	松永　伸太朗	企業情報学	専門ゼミ・	現代社会における働き方の成り立ち	インタビュー調査	上田市	富士アイス	プロジェクト研究
146	松永　伸太朗	企業情報学	専門ゼミ・	現代社会における働き方の成り立ち	インタビュー調査	上田市	はたらクリエイト上田オフィス	プロジェクト研究
147	松永　伸太朗	企業情報学	専門ゼミ・	現代社会における働き方の成り立ち	インタビュー調査	上田市	上田信用金庫本店営業店	プロジェクト研究
148	森　俊也	企業情報学	専門ゼミ・	「顧客にして欲しい思い」を基礎に	イノベーション研究の最終発表会	下高井郡山	ホテル豊生	プロジェクト研究
149	森　俊也	企業情報学	専門ゼミ・	「顧客にして欲しい思い」を基礎に		長野市	手提屋	プロジェクト研究
150	森　俊也	企業情報学	専門ゼミ・	「顧客にして欲しい思い」を基礎に	企業イノベーション研究における企業	松本市	有限会社本郷鶏肉	プロジェクト研究
151	森　俊也	企業情報学	専門ゼミ・	「顧客にして欲しい思い」を基礎に	企業イノベーション研究における企業	上田市	一般財団法人信州国際音楽村	プロジェクト研究
152	森　俊也	企業情報学	専門ゼミ・	「顧客にして欲しい思い」を基礎に		上田市	木のおもちゃ製作所・銀河工房	プロジェクト研究
153	森　俊也	企業情報学	専門ゼミ・	「顧客にして欲しい思い」を基礎に	企業イノベーション研究における企業	上田市	石井工務店株式会社	プロジェクト研究
154	森　俊也	企業情報学	専門ゼミ・	「顧客にして欲しい思い」を基礎に	企業イノベーション研究における企業	上田市	勢登屋	プロジェクト研究
155	森　俊也	企業情報学	専門ゼミ・	企業イノベーション研究の成果発表	企業イノベーション研究で検討・考察	上田市	石井工務店	
156	森　俊也	企業情報学	専門ゼミ・	企業イノベーション研究の成果発表	企業イノベーション研究で検討・考察	上田市	勢登家	
157	森　俊也	企業情報学	専門ゼミ・	企業イノベーション研究の成果発表	企業イノベーション研究で検討・考察	上田市	銀河工房	
158	森　俊也	企業情報学	専門ゼミ・	企業イノベーション研究の成果発表	企業イノベーション研究で検討・考察	上田市	信州国際音楽村	
159	森　俊也	企業情報学	専門ゼミ・	企業イノベーション研究の成果発表	企業イノベーション研究で検討・考察	上田市	HIPPOCAMUPUS（ヒポキャンパ	
160	森　俊也	企業情報学	専門ゼミ・	企業イノベーション研究の成果発表	企業イノベーション研究で検討・考察	長野市	水島紙店	
161	森　俊也	企業情報学	専門ゼミ・	企業イノベーションプロジェクトに	共同開発商品６つの提案発表	松本市	本郷鶏肉	
162	森　俊也	企業情報学	専門ゼミ・	道の駅・美ヶ原高原の物販事業等の	物販事業（Ｖｅｉｌ）の開発、レク	上田市	道の駅・美ヶ原高原	
163	石川　義宗	企業情報学	専門ゼミ・	長野県の伝統的工芸品に焦点を当て	上田市の伝統的工芸品「農民美術」を	上田市	尾澤木彫美術館	プロジェクト研究
164	石川　義宗	企業情報学	専門ゼミ・	長野県の伝統的工芸品に焦点を当て	地域を伝えるためのリーフレットの作	上田市他	豊上モンテリア、Lua　Rua　Cof	プロジェクト研究
165	田中　法博	企業情報学	専門ゼミ・	アプリ開発を通して社会のニーズに	共同プロジェクト	上田市		プロジェクト研究
166	田中　法博	企業情報学	専門ゼミ・	はだと化粧のアプリ開発	上田市の海野町のお肌の専門店「わか	上田市海野	わかまつや	KOSEとの共同特許
167	田中　法博	企業情報学	専門ゼミ・	文化財の３DCG再現	上田市立博物館の文化財を３DCG再現	上田市	上田市立博物館	
168	望月　宏佑	企業情報学	専門ゼミ・	地域の文化財のデジタルアーカイブ	影用水・御影陣屋の　3DCG復元の進	小諸市	市民団体御影用水・陣屋応援隊	プロジェクト研究
169	望月　宏佑	企業情報学	専門ゼミ・	地域の文化財のデジタルアーカイブ	復元プロジェクトの調査	小諸市	小諸城址公園	プロジェクト研究
170	望月　宏佑	企業情報学	専門ゼミ・	地域の文化財のデジタルアーカイブ	復元プロジェクトの調査	佐久市	佐久市龍岡城五稜郭	プロジェクト研究
171	鈴木　誠	企業情報学	初年次ゼミ	「企業や社会とのつながりを意識す	祇園祭実行委員長にインタビュー調査	上田市		課題発見ゼミナール
172	鈴木　誠	企業情報学	初年次ゼミ	「企業や社会とのつながりを意識す	フィールドワーク、インタビュー調査	上田市	ことぶき商店	課題発見ゼミナール
173	鈴木誠	企業情報学	専門ゼミ・	地域マネジメントプロジェクト	上田市の企業等へインタビューをし、	上田市	雪屋Conco	
174	井上景・相馬大祐	大学院総合	コースプロ	児童相談所業務の困難性および	児相相談所の離職率の高さに着目し、	長野市	長野県こども・家庭課児童相談・	
175	丹野傑史	大学院総合	コースプロ	実体把握	知的障害特別支援学級における自立活	上田市	上田市立第六中学校	

1-1. TOPページ　全体

現行

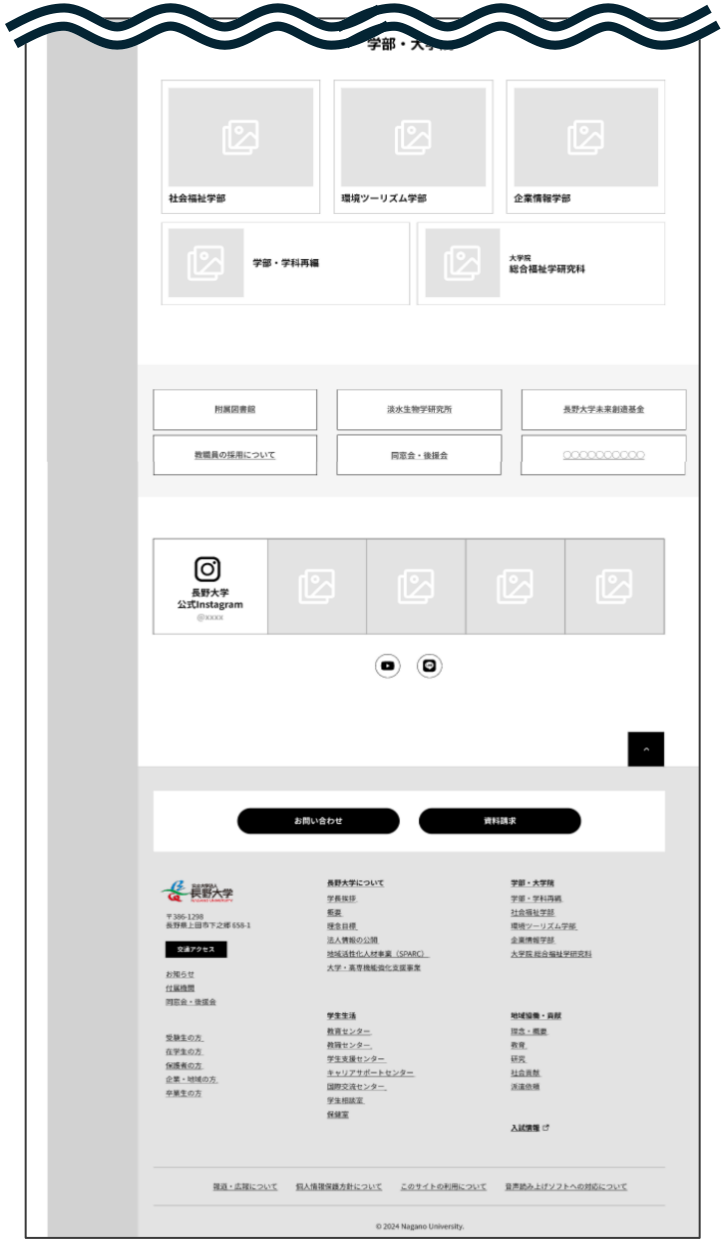




1-2. TOPページ 全体

新





2. 訪問者別メニュー

現行

クリック



新

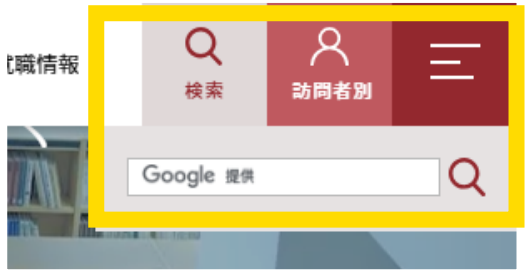


3. サイト内検索ボタン

現行

クリック





新





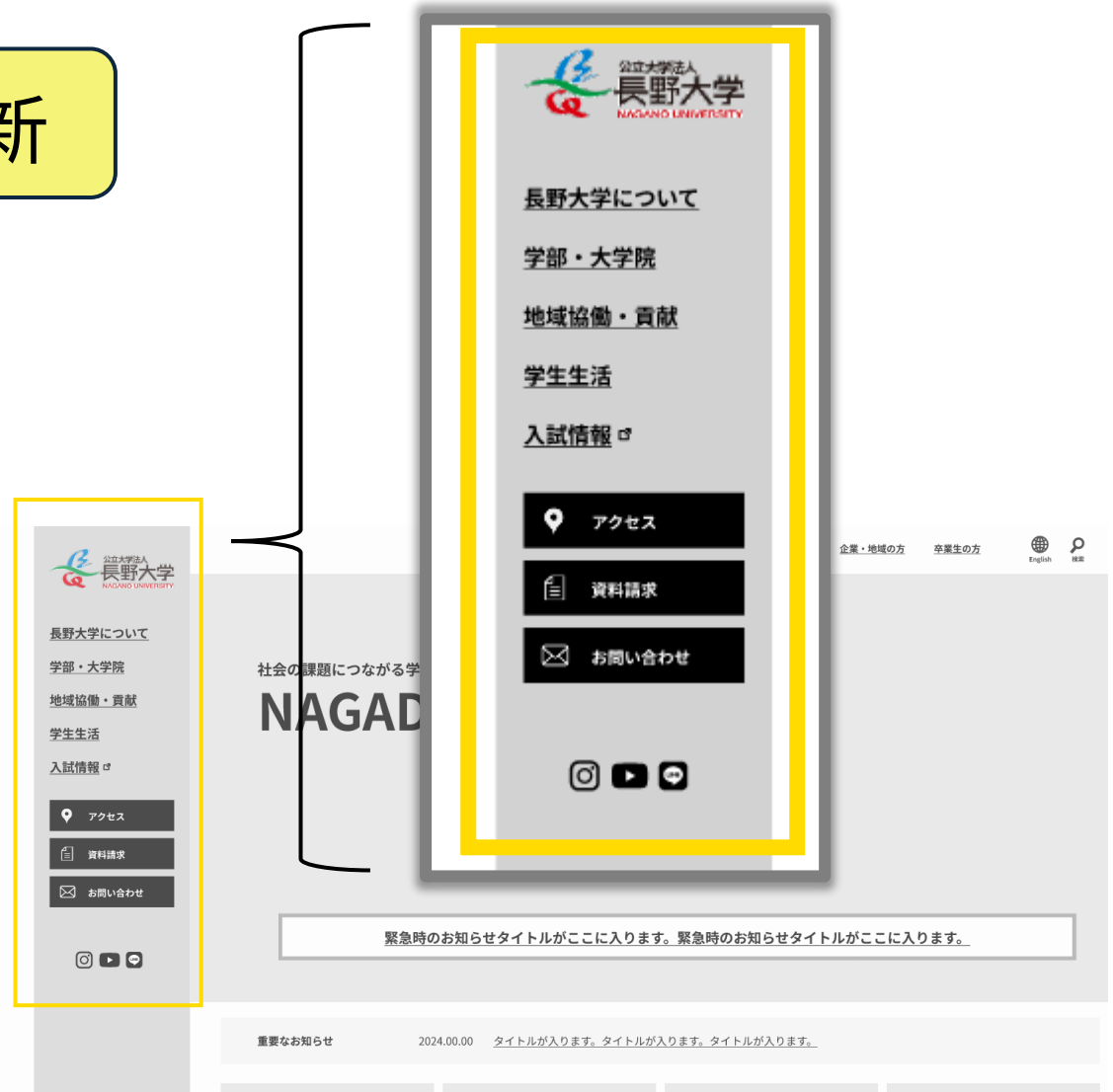
4-1. グローバルメニュー　全体

現行





新



4-2. グローバルメニュー　大学概要

現行



新

オンマウス



4-3. グローバルメニュー　学部・大学院

現行



新

オンマウス



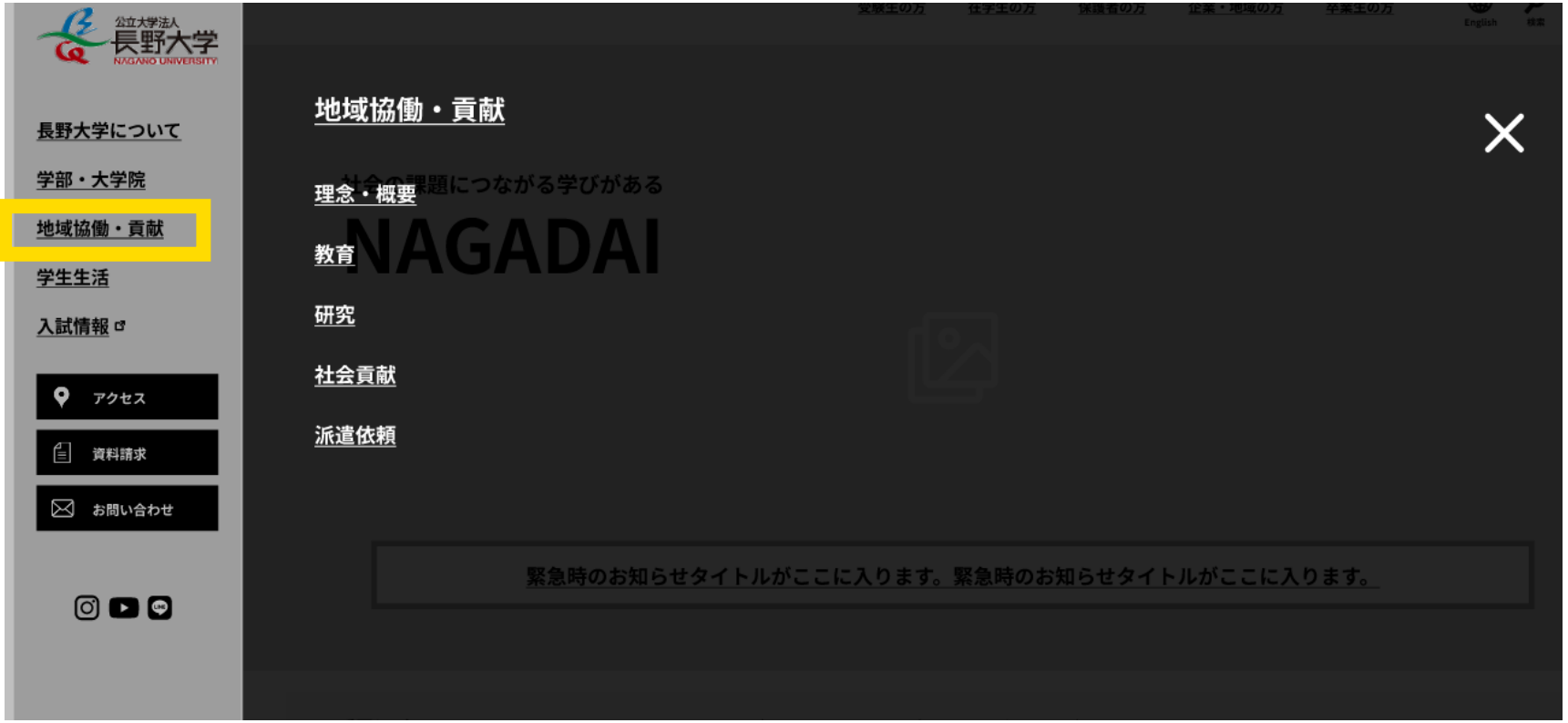
4-4. グローバルメニュー　地域協働・貢献

現行



新

オンマウス



4-5. グローバルメニュー　学生生活

現行



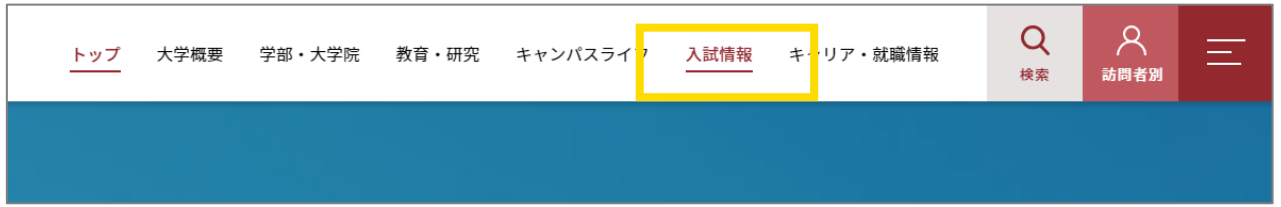
新

オンマウス



4-6. グローバルメニュー　入試情報

現行



新

特設サイトへ遷移



5-1. お知らせ【重要】

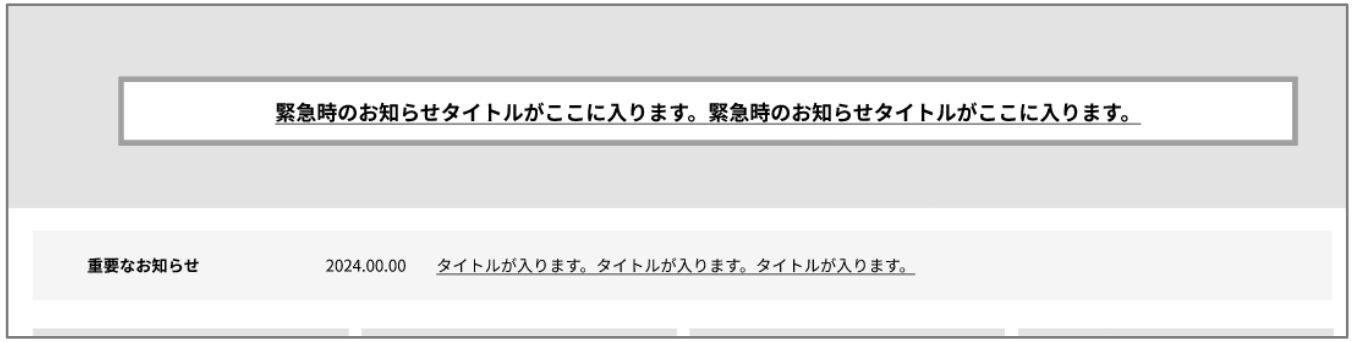
現行





新





5-2. お知らせ【新着ニュース】

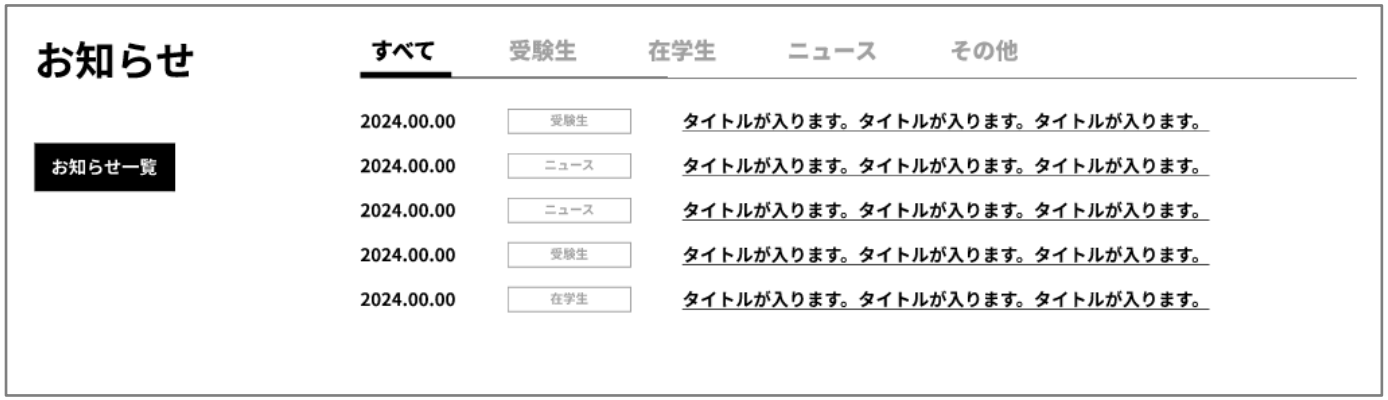
現行





新





6-1. トップページコンテンツ①【地域での学び/活動】

現行





各コンテンツクリックで
地域での学びページへ

新

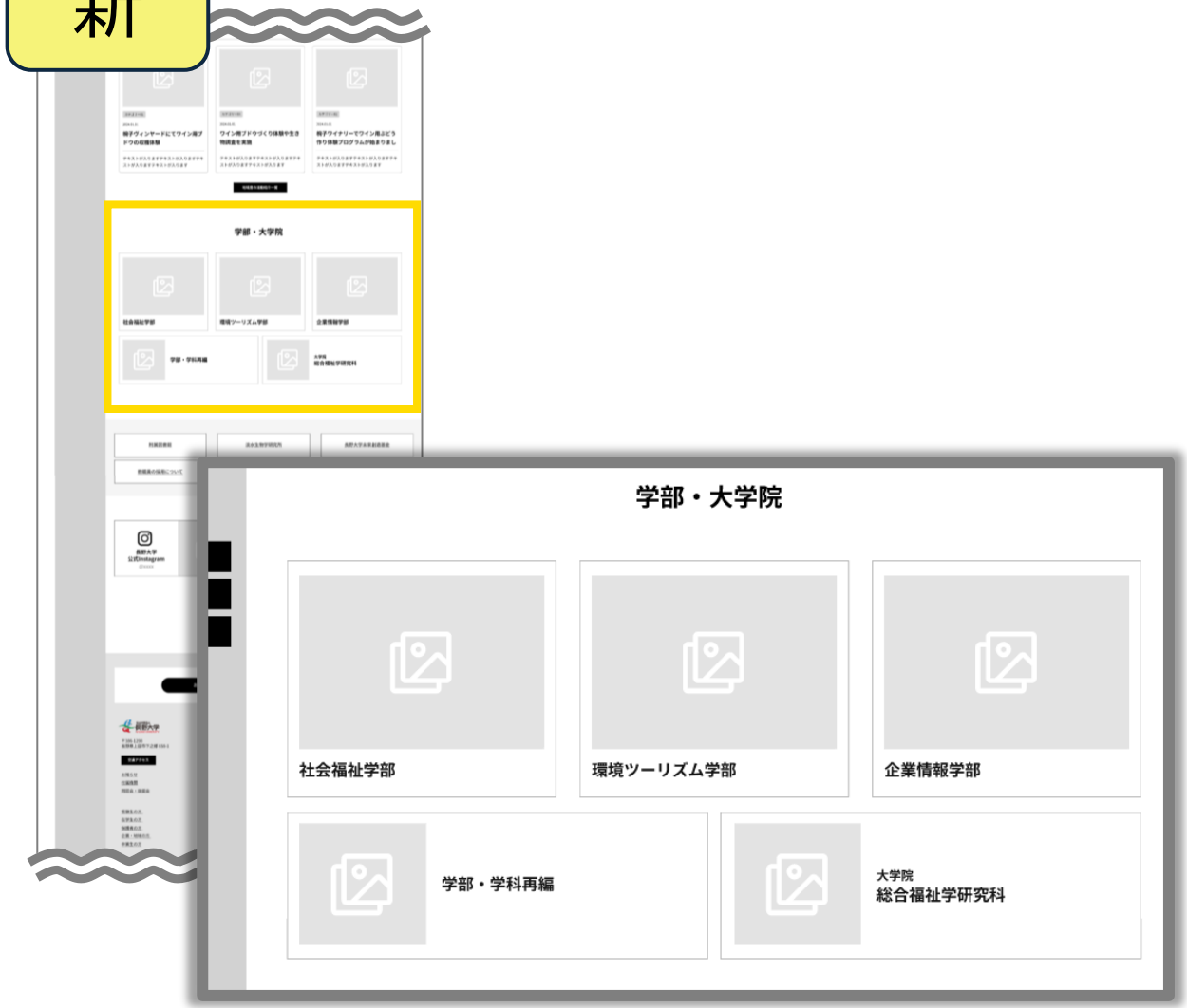


6-2. トップページコンテンツ②【学部・大学院】

現行



新



6-3. トップページコンテンツ③【就職実績】

現行





新

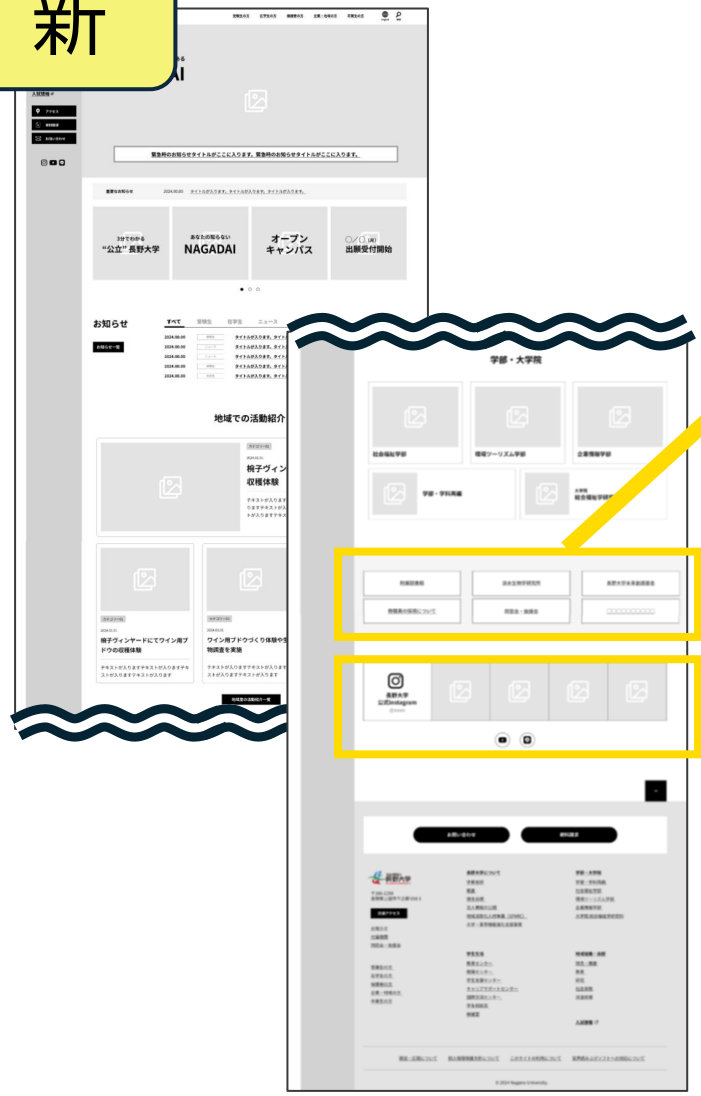
なし

6-4. トップページコンテンツ④【クイックメニュー・SNS】

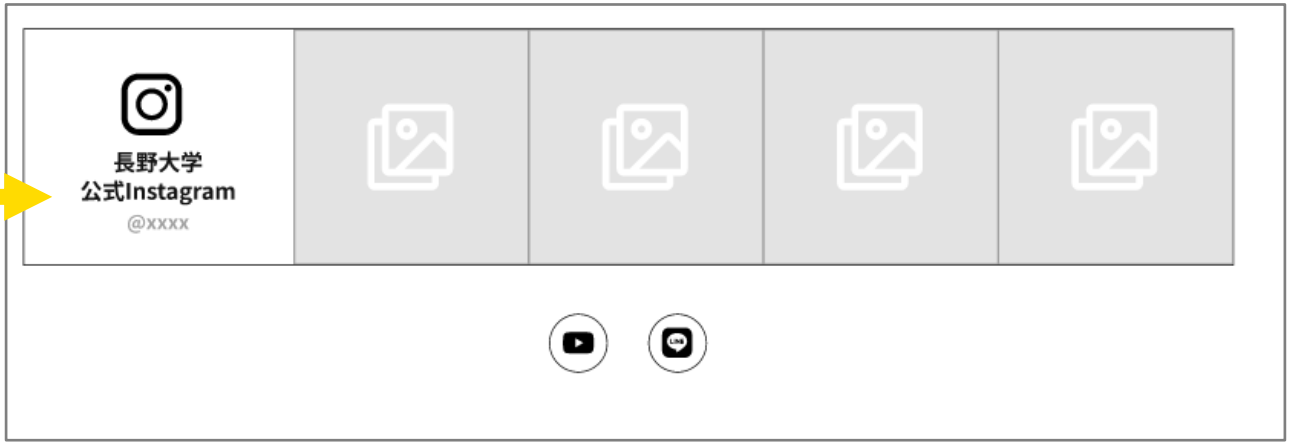
現行

なし

新





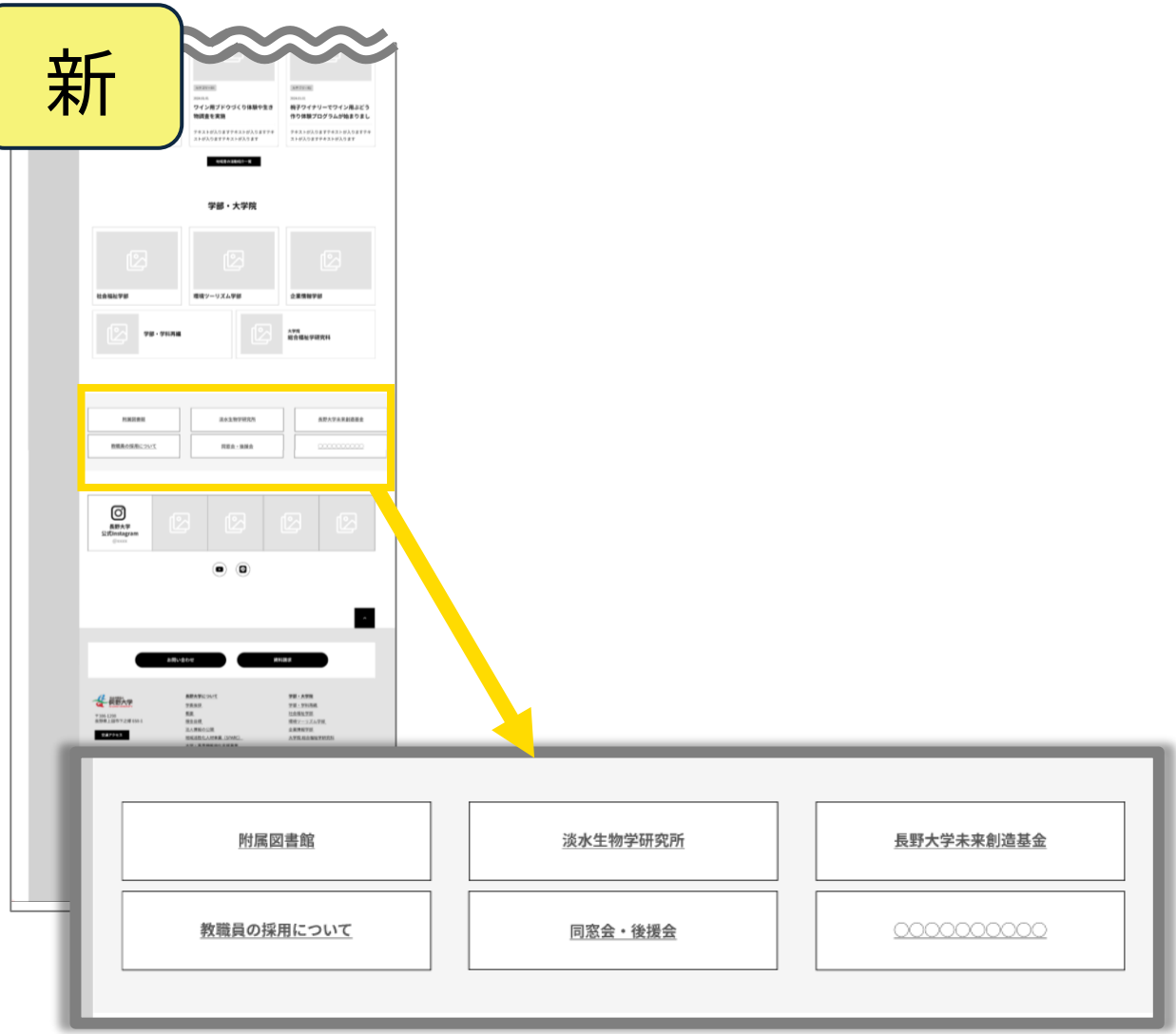


6-5. トップページコンテンツ⑤【バナーエリア】

現行



新



7-1. フッター

現行


↑ PAGE TOP
公立大学法人 長野大学
〒386-1298 長野県上田市下之郷 658-1
© 2022 Nagano University.
大学概要
学部・大学院
教育・研究
キャンパスライフ
入試情報
キャリア・就職情報
受験生の方へ
在学生の方へ
卒業生の方へ
地域・一般の方へ
交通アクセス
お問い合わせ
サイトマップ
報道・広報について
個人情報保護方針について
このサイトの利用について
音声読み上げソフトへの対応について

7-2. フッター

新


お問い合わせ
資料請求
公立大学法人 長野大学 NAGANO UNIVERSITY
〒386-1298
長野県上田市下之郷 658-1
交通アクセス
お知らせ
付属機関
同窓会・後援会
受験生の方
在学生の方
保護者の方
企業・地域の方
卒業生の方
長野大学について
学長挨拶
概要
理念目標
法人情報の公開
地域活性化人材事業（SPARC）
大学・高専機能強化支援事業
学生生活
教育センター
教職センター
学生支援センター
キャリアサポートセンター
国際交流センター
学生相談室
保健室
学部・大学院
学部・学科再編
社会福祉学部
環境ツーリズム学部
企業情報学部
大学院 総合福祉学研究科
地域協働・貢献
理念・概要
教育
研究
社会貢献
派遣依頼
入試情報
報道・広報について
個人情報保護方針について
このサイトの利用について
音声読み上げソフトへの対応について
© 2024 Nagano University.